

ボタニガードESの混用可能性（殺菌剤）

殺虫剤・殺ダニ剤は裏面

商品名	成分	FRAC コード	ボタニガード ESとの 混用可能性
サブデューマックス液剤	メタラキシルM	A1	△
ベンレート水和剤	ベンミル	B1	△
パウミル水和剤	ジエトフェンカルブ	B2	○
エトフィンフロアブル	エタボキサム	B3	○
アフエットフロアブル	ペンチオピラド	C2	○
カンタスドライフロアブル	ボスカリド	C2	○
モンカット水和剤	フルトラニル	C2	○
アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	C3	○
オラクル顆粒水和剤	アミスルブロム	C4	△
ランマンフロアブル	シアゾファミド	C4	○
フロンサイド水和剤	フルアジナム	C5	△
フルピカフロアブル	メパニピリム	D1	○
カスミン液剤	カスガマイシン	D3	△
マイコシールド	オキシテトラサイクリン	D5	△
セイビアーフロアブル20	フルジオキシニル	E2	△
ロブラール水和剤	イプロジオン	E3	○
リゾレックス水和剤	トルクロホスメチル	F3	○
プレビクールN液剤	プロモカルブ塩酸塩	F4	△
トリフミン水和剤	トリフルミゾール	G1	△
ラリー水和剤	ミクロブタニル	G1	△
サンリット水和剤	シメコナゾール	G1	△
パスワード顆粒水和剤	フェンキサミド	G3	△
ピクシオDF	フェンピラザミン	G3	○
バリダシン液剤	バリダマイシン	H3	○
ポリオキシシンAL水和剤	ポリオキシシン複合体	H4	△
フェスティバル水和剤	ジメトモルフ	H5	○
レーバスフロアブル	マンジプロパミド	H5	△
アリエッティ水和剤	ホセチル	-	△
プロパティフロアブル	ピリオフェノン	-	△
ガッテン乳剤	フルチアニル	-	△
Zボルドー	塩基性硫酸銅	多	△
クムラス	硫黄	多	○
ジマンダイセン水和剤	マンゼブ	多	×
アントラコール顆粒水和剤	プロピネブ	多	×
オーソサイド水和剤80	キャプタン	多	×
ダコニール1000	クロロタロニル	多	×
ベルコート水和剤	イミノクタジンアルベシル酸塩	多	△
モレスタン水和剤	キノキサリン	多	△
カリグリーン	炭酸水素カリウム	-	×
ハーモメイト水溶剤	炭酸水素ナトリウム	-	△

・本表は、生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」の支援を受け、「微生物殺虫・殺菌剤を用いた野菜重要病害のデュアルコントロール技術の確立」コンソーシアムが作成した。

・表中の結果はボタニガードESの有効成分 *Beauveria bassiana* GH4株胞子またはボタニガードESに対する各農薬の影響を示したものであり、混用による薬害の有無を示したものではありませんのでご注意ください。

（○：影響が小さい、△：やや影響あり、×：強い影響あり）

・表中の結果はあくまでも目安であり、気象条件（温度、降雨、紫外線量など）で変化します。このため本表を参照して生じた如何なる損害についても本研究コンソーシアムおよびアリスタライフサイエンス社は責任を負いませんので、ご了承の上でご使用ください。



(殺虫剤・殺ダニ剤)

商品名	成分	IRAC コード	ボタニガード ESとの 混用可能性
サンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド	気門封鎖	○
エコピタ液剤	還元澱粉糖化物	気門封鎖	○
ハッパ乳剤	ナタネ油	気門封鎖	○
オレート液剤	オレイン酸ナトリウム	気門封鎖	○
アカリタッチ乳剤	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル	気門封鎖	○
ハーベストオイル	機械油	気門封鎖	○
サフオイル乳剤	調合油	気門封鎖	○
ムシラップ	ソルビタン脂肪酸エステル	気門封鎖	○
フーモン	ポリグリセリン脂肪酸エステル	気門封鎖	○
粘着くん液剤	ヒドロキシプロピルデンブン	気門封鎖	○
スミチオン乳剤	MEP	1B	△
マラソン乳剤	マラソン	1B	△
トクチオン乳剤	プロチオホス	1B	○
オルトラン水和剤	アセフェート	1B	○
アディオオン乳剤	ペルメトリン	3A	○
テルスターフロアブル	ビフェントリン	3A	○
トレボン乳剤	エトフェンプロックス	3A	○
アクタラ顆粒水溶剤	チアメトキサム	4A	△
ベストガード水溶剤	ニテンピラム	4A	△
ダントツ水溶剤	クロチアニジン	4A	△
スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	4A	△
トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル	4C	○
スピノエース顆粒水和剤	スピノサド	5	○
ディアナSC	スピネトラム	5	○
アフーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	6	○
コロマイト乳剤	ミルベメクチン	6	○
チェス顆粒水和剤	ピメトロジン	9B	○
コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	9B	○
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス	10A	○
バロックフロアブル	エトキサゾール	10B	○
テデオオン乳剤	テトラジホン	12D	○
ノーモルト乳剤	テフルベンズロン	15B	△
マッチ乳剤	ルフェヌロン	15B	△
カスケード乳剤	フルフェノクスロン	15B	△
カウンター乳剤	ノバルロン	15B	△
アプロード水和剤	ブプロフェジン	16	○
トリガード液剤	シロマジソ	17	○
ファルコンフロアブル	メトキシフェノジド	18	○
マトリックフロアブル	クロマフェノジド	18	○
ロムダンフロアブル	テブフェノジド	18	○
カネマイトフロアブル	アセキノシル	20B	○
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート	20D	○
ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート	21A	○
マイトクリーン	ピリミジフェン	21A	○
トルネードエースDF	インドキサカルブ	22A	○
アクセルフロアブル	メタフルミゾン	22B	○
クリアザールフロアブル	スピロメシフェン	23	○
モベントフロアブル	スピロテトラマト	23	○
スターマイトフロアブル	シエノピラフェン	25A	○
ダニサラバフロアブル	シフルメトフェン	25A	○
ダニコングフロアブル	ピフルブミド	25B	○
ベネビアOD	シアントラニリプロール	28	○
フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド	28	○
ウララDF	フロニカミド	29	△
ブレオフロアブル	ピリダリル	UN	○
グレーシア乳剤	フルキサメタミド	30	△